令和3年度 市政懇談会1日目(要約)

- · 日 時 令和3年11月4日(木)19時00分~21時15分
- ・場 所 さぬき市本庁舎 3階 301・302会議室
- ・出席者 市長、副市長、教育長

市民部長、生活環境課長(司会)、生活環境課担当

市連合自治会 津田・鶴羽・北山・志度・末・鴨庄・鴨部・小田支会長 市連合自治会 津田・鶴羽・北山・志度・鴨庄・小田・石田副支会長

- ・一般参加 なし
- ・議 題 (1)市政報告
 - (2)連合自治会各支会から市政への提案・意見等について
- 議事内容

開会にあたり、市長からの挨拶。

続いて、市長より市政報告があった。

市政報告後、連合自治会支会より市政への提案・意見等について、市長に対し質問し回答、考えを確認することとした。

●津田支会の提案・質問

「津田出張所の開所日について」

「住みよいさぬき市のための長期的な政策について」

●市長の回答

持続可能な地域社会をつくる為に支所、出張所の見直しが必要ではないか として市議会とも何度か議論をし、出張所の開所日は、寒川に庁舎を建築 し、開所する日数を減らした。

来所の際に閉所していたということが無いようにとの話も出ていました。 増やせば良いというものではないが、市議会にも毎年度、個別具体的な問題があれば提案することとしている。今後、持続可能なものとしていくに は現在の形ではどのような問題あるか検討する必要がある。

また、当市でもデジタル化を進めている。

ただ、全ての市民がデジタル化の恩恵を受けることは難しいと思う。 徐々にデジタル化を進め、そこに行かなくても用事が済むような方法、 後にも提案があるかと思われるが、広報誌の配布についての意見もある。 紙ベースでそのまま配布した方が良いのか。さぬき市は自治会加入の方 は75%程度はあるが、高松市は50%程度である。

そうなると、自治会加入のみの方だけに広報誌を配布するのはどうか? 全市民に配布したらどうかとの話になる。

ただ、その場合非常にお金がかかる。

今の支所、出張所については、何とか間に合うのであればそのまま活用 して頂きたい。ただ、今後も支所、出張所の開所日の検討は行っていき たい。 計画については、計画を策定すればもう終了したということになってしまってもいけないので、計画を策定して終わりということではなく、計画は実際実行できてこその計画である。後期基本計画については、再来年度に計画策定のためにアンケートを予定している。また、若い方が増えるよう色々な民間の意見を聞き、その場を設けて計画が計画倒れにならない、一般的な基本計画、介護や高齢者の計画、障害者の皆さんの計画、色々な縦割りで策定してきているが、計画とは受ける方からすると計画を多く策定しても必要なサービスがあるかどうかを確認が困難である。

そこで、計画により効果が実感できるもの、そういった情報、側面を把握し 計画にも生かしていきたい。

●津田支会、再質問

「人口を増やす施策について」

●市長の回答

もちろん、転入者で子供と一緒に転入して頂けると子供数も増えるが、特に若い世代に転入が増えること、その動機付け、例えば、あの場所に行けばこのようなことが出来る、若い人が転入してくると家賃補助制度があるとか、具体的な分かり易い転入策を考えていきたい。

●鶴羽支会の提案・質問

「アドバイザー制の導入について」

「市の女性管理職の登用について」

「審議会の公募委員の増加について」

「さぬき市のアウトソーシング推進について」

●市長の回答

アドバイザー制については、複業の会社を運営しているところ、ボランティ ア的に、例えば、自分は仕事をしているが他に地方公共団体の役に立ちたい という方もいる。

なお、現在、当市では3名の方にお願いをしている。

目新しいことをすれば全て上手くいくということでもないが、一つの試みとして、私が良く存じ上げている方、IT 関係者で海外で活躍している地元に愛着のある方、世界を視てきた人の意見を聞くということも重要であると思う。今迄と違った観点の意見を取り入れるようにしたい。

女性の管理職登用については、今は圧倒的に、女性が活躍し難い環境である為女性が活躍し易い環境として管理職に登用するのは賛成である。しかし、男性より女性が優れている訳ではない。もちろん、女性が男性より優れていないという訳では決してない。

今迄、職員の場合は、今迄は女性に内部事務をさせるようにしていた。 しかしながら、今後は、本人の希望を思いて、希望する業務がある者によ

しかしながら、今後は、本人の希望を聞いて、希望する業務がある者には、そ 業務で活躍できるようにしたい。

公募委員の増加については、確かにハードルが高い。宛て職でも真剣に考えて

くれる方も多いが、公募委員をうまく活用するという意味で、役所の側だけで 考えるのではなく、民間の意見を聞くことも必要である。

民間の意見が全て正しいとは思っていないが、行政の意見が良いとも思っていない。それぞれ、良い意見があると考えている。

本当のPPTとは行政と民間のそれぞれの良いところを結びつけることである。 アウトソーシングについては、これも同じである。行政がすると効率が悪いが 民間が行うと効率が良い、と誤解している方が多くいる。

今後は誤解を解けるように、職員も含め私も努力し、民間の良い点を取り入れ 住民にアウトソーシングして良かったと思って頂けるよう取り組んでいきたい。

●鶴羽支会、再質問

「移住にかかるパンフレットの設置方法等について」

●市長の回答

パンフレットがどの程度設置されているのか詳細は把握していないが、パンフレットをどこにも同じように設置するというのではなく、ニーズの把握をして設置することが必要である。過去の実績からどの程度必要か等を踏まえニーズがあるところには重点的に対応したいと思う。

●志度支会の提案・質問

「国道11号交差点の改良工事について」

「徳島文理大学移転について」

「玉浦川河口の土砂の取り除きについて」

「ため池堤防の改修について」

「自治会の助成金について」

「鳥獣被害(イノシシ・猿)の対策について」

「ホームページの改訂について」

「お遍路の看板設置について」

「文理大移転に伴う説明会について」

「災害対策事業の早期着工について」

「志度公民館について」

の内、

「国道11号交差点の改良工事について」、「徳島文理大学移転について」

「鳥獣被害の対策について」、「お遍路の看板設置について」

「文理大移転に伴う説明会について」の提案・質問があった。

●市長の回答

徳島文理大学の移転の話は、移転の際に市に対し相談を頂け無かったのは私 の責めの部分もある。

そもそもは2018年夏に理事長が、今後、志度キャンパスで文理大を経営することは無理であると、高松市内で駅の傍に「コナミ」の運動施設の跡地を購入できないか検討していると。そこはそんなに大きい土地ではないので、高層ビルとなるので高松市の都市計画に別途の承認が必要である。

その件について色々検討して貰っているので、今の段階で部外に話を出さないで欲しいということであった。

その際、理事長に対しさぬき市に対し何かして貰えるのかと確認したところ、 決定済の事項である。

文理大学は、令和7年4月に新キャンパスで開学予定であるので今から3年少しの期間で大学の敷地面積、非常に大きいが、学校施設であれば課税特例を受けられることは出来ると思うが、使用しなくて持っているだけであれば特例対象にならないのではないか、等について勉強する必要がある。なお、県立高校の統合の話もあるが、統合先として活用する案もある。そういっても大学の建物、敷地は非常に大きいため3分の1、4分の1程度の活用であればということを、プロジェクト推進室でも協議している。それと、さぬき市が今後も生き残っていくためには移住をして貰う方法を検討していく必要がある。

一番良いのはその施設を使ってくれる人が、税金を払って頂けることである。 それ以前に税金は払って貰えなくても、人間が来て居住して貰えれば消費を するので、少しでも地元の方にお金が落ちるような方法を考えている。 マルナカ前の工事の件については、私も何度か県に対しマルナカのほうに セットバックして右折するほうの渋滞解消を行いましょうという話を県から 聞いている。しかし、県のほうも地権者との話があるのかもしれないが、 思ったより進展していない。

話を前に進める必要があるので、どの方法でも具体的な対策を提案して頂き市が協力できるものは協力し、渋滞緩和に努めたい。

志度寺から出る箇所については、中国銀行と「こすも」の協力を得て、歩道整備が出来た。

そのような方法などでマルナカのほうの案件も進めていければと思う。 地元の方の協力を得ながら進めて参りたい。

●志度支会の再提案

「徳島文理大の移転後の土地に対する課税の方法を検討して貰いたい。」

●志度支会の残りの質問

「鳥獣被害の対策について」、「お遍路の看板設置について」「志度公民館について」、「県立3高校の統合について」

●市長の回答

県立3高校の統合については、他地区の方からも意見・提案を頂いている。 私見ではあるが、県知事に対して今の3高校を存続させて、色々検証し1つ にするしかないというところまで少し時間を頂戴したら如何かという話をし てきたが、それは間違っているとは思っていない。ただ、残念ながら県教委、 県知事は昨年3月に県議会で高校のビジョンを議決した。そのなかには原則 として3高校を1つにする、そしてその3高校は今のどの場所にも関係無い 場所に土地を購入して建築するということが基本になっている。ただ、教育 委員会の検討の過程で全く関係無い場所に新規で高校を建築するのは無理 があったのだろうと考える。

そうなると既存高校に他の高校を編入することも視野に入れて、ということ も選択肢の一つになったのではないか。

ただ、県議会としてはどこか1高校に編入する方法だと他の2高校から批判が出るので、当初方針どおり新しい場所に建築するほうが良いという話もあると聞いている。

県教委が県知事と相談して話を進めているのでどうなるかは不明だが、私は 10年先を考えた際に、高校を育てる会が述べていることのほうが、よりベターではないかと思うので、今後の県の動向を注視しながら必要があれば話をしていきたいと考えている。

志度公民館は、遅延し、志度地区の方には申し訳なく思っている。

場所も決定し、基本設計も地元の関係者と協議し予算の制限もあるが協力を 頂いている。これからの公民館は災害時の拠点になる、幅広い年齢の方が集 うことによって地域力が高まると。令和6年4月には開所できるような流れ で進めている。来年度には一部工事の予算も計上されてくる。

逼路の看板については、ユネスコの世界文化遺産登録に皆さんで協力してい きましょうとしているが、ユネスコと日本の間の考え方にずれがある。

うまく進んでいない。私は以前から述べているがユネスコの世界遺産登録と は結果であって、それ自体には大した意味はない。

登録を目標に四国4県の88箇所のお寺を中心にして協力し努力することが 重要であると。そのなかで、源内さんの看板も非常に重要であるので、看板 をすることによって世界遺産登録が近づくのであればぜひ、実施したい。 なお、前山にはお遍路交流サロンがあるが、88箇所のお遍路の交流サロン としているが敷地が非常に手狭であるので広くしたい。お遍路のことが、 そこに行けばモノも見られるし、勉強もできるということでもあるので、 そこを整備することで世界遺産登録が少しでも前に進む、もし進まなくても それによって来場者が呼べる、そういった場所としたい。

看板についても前向きに考えたい。

猪・猿の対策については、2つ方法がある。1つは個体を減らす。 もう1つはフェンスを設けて侵入しないようにすると。国や県からも補助をして貰っている。

さぬき市も猪の駆除頭数は年間 1,200 頭という数字になっている。 しかし、いくら捕獲しても猪の繁殖力が高いのか、捕獲頭数は多い。 捕獲と柵の設置の方法で対策を講じていきたいと考えているので、具体的な 話があれば担当課に申し出て頂き、一緒になり鳥獣被害を減らしていきたい。

●教育長の回答

公民館については、今、地域の代表者の方や公民館を使用する団体の代表の 意見を頂き、予算内、建築面積のなかで部屋数や部屋の配置、形態、機能等 について相談させて頂き、基本計画が出来上がった。

現在は実施計画、機能を果たすためにどういうものが必要であるかを具体的 にする実施設計に取り組んでいる。

この実施設計が出来れば、入札によって工事に入るところであるが、建築予 定地の土地の下の部分がどうなっているのか、で大きく異なってくる。

例えば、さぬき南中学を建築する際に建築地の下に大きな岩盤があり、うまく基礎が出来なかったため竣工が遅延した経緯がある。

土の中でありどうなっているのかは分からないので、それに基づき実施設計をし、工事を行うようになる。また、外構の話もある。

公民館は高齢者から子供まで全ての方が活動できる場所でありかつ災害の際 に利用し活用できる建物となっているのでそのようなことも考えて進めてい きたい。

早ければ令和5年度末には竣工可能かとは思われるが、目途は令和6年度当初に供用開始ということで進めて参りたい。

●末支会の提案・質問

「大串の開発について」

「徳島文理大学の移転問題について」

「マルナカ前県道の延長について」

提案、質問の前に本会が 19 時から開始となっている理由の説明を求められた。 高齢者が多いため夜間は十分な協議が困難であるとの意見があった。

●生活環境課長の説明

日中になると、仕事をされている方もおり、市政懇談会については毎年、夜 に実施しているところである。

夜間であれば参集頂きやすいとのことで調整させて頂いている。

引き続き、末支会から提案・質問があった。

●市長の回答

国道11号線のマルナカの右折の際の渋滞解消として文理大まで延伸すれば との意見だが、そういった話もあることは理解している。

県とは話をしてマルナカに少し下がって貰って用地を拡げるというのが現実的な案であるということを聞いている。本日、支会長からそういう意見を頂いたので、県長尾土木事務所に現実的な実施は可能かと申し入れをしたい。 大串の開発については、過去にも大串に色々な事業を実施してきた。

それが残念ながら上手くいっていないということも事実として受け入れる。 そこに堀部先生の建物を建てただけでは、誘致できる方は少ない。

しかしながら実施して次に向かわないと、同じ過ちを繰り返すのではないか。 支会長が述べるように1次、2次、3次計画、海釣り公園の整備を含めた 大串半島の開発を考えているが、もし第一段階で想定よりも来場者が少なく 上手くいかない場合については当然立ち止まって考える。

第1段階で上手くいかなければ、第2段階、第3段階は無いと考えている。

ただ、全体としての開発は、個々の開発だけでは進めないと考えているので、決定したものではないと理解している。

●末支会から再質問、提案があった。

「堀部安嗣氏の「ガンツウ」を大串にも生かす予定の有無について」

●市長の回答

「ガンツウ」とは大きい船で宿泊するものであり、非常に人気があり予約が 困難である。例えば、海釣り公園着岸できるかといえば、大々的な工事を しないと無理であると思われる。

ただ、「ガンツウ」から小型船でそこに上陸するなり、志度港へ伝馬船のようなもので来て、それで堀部先生の建築するところに行くということは可能であると思う。現在、先生とも話をしているので、可能であれば瀬戸内海を廻るコースとして、景色を楽しみながら会食をして頂く、それは可能ではないかと思う。

●末支会からの再意見。

「事業実施にかかる費用の具体的な検証の必要性について」

「末地区で実施予定の五瀬山周辺の公園整備の予定とその後援について」

●市長の回答

支会でも「五瀬山」のプロジェクトで動いていると。良いことは沢山ある と思われるので、そのような提案があれば、市に申し出て頂き、市も地元 の方が取り組んでいるものについては、それぞれの地域の特性を生かしな がら協力したいと考えている。

今後とも、さぬき市全体が活性化する提案をお願いしたい。

●鴨庄支会の提案・質問

「新開地区の水害対策の強化について」

●市長の回答

防潮堤については、災害が発生してからでは遅いので点検をして具体的な 計画のなかで反映できるかどうかを検討してみたい。

潮留の浚渫については、過去にも一部実施したと聞いている。

水門部分も対策したと聞いているが、今かなり老朽化が進み、一旦開けると 戻らなくなることもあり開けることができないとの話を聞いている。

水門の改修、潮留の浚渫をどのように実施すれば良いかを考えながら見解を 纏めるように指示をしたいと考えている。

個別に新開自治会と相談する際には、知恵を貸して頂きたい。

●鴨部支会の提案・質問

「鴨部の発展計画について」

「鴨部小学校跡地の利用について」

●市長の回答

まず、発展計画については、こうすれば上手くいくという方法が見つからないことはお詫び申し上げる。

鴨部の小学校については、運動場側は企業誘致用地として動いているが、 なかなか上手くいっていない。

ただ、特別教室棟のところは、ある企業から使用させて頂きたいとの話が きているので、話が出来る段階になれば自治会長にも相談させて頂きたい。 特別教室棟についてはそんなに先の話ではないと聞いている。

●小田支会の提案・質問

「コミュニティバスの土日運行について」

●市長の回答

コミュニティバスの土日の運行については、採算が取れていないこともあり車体にコマーシャルを打つなどして、私が市長になって以降、バス運行経費を2,000万円程度は低減したが、未だに不採算である。

支会長が述べるように駐車場の問題なのか、マイクロバスの運行、現在、 東かがわ市が運行実験を行っているところであるが、有効な策を実施して いければと思う。小田地区だけでなく山間部など過疎地域では移動手段が 問題であるので、可能性、交通弱者のための交通機関をどうするのか、 国の実証実験とかコミュニティバスの採算が少しでも上がる方法とかを 検証していきたいと思う。

なお、コミュニティバスの運転の問題は注意をするように話をしたい。

●市長の提案、意見

市政懇談会の開催については、全部を2回で行う必要があるか、又、 夜間での実施でなければならないか、等は本日、連合自治会会長も出席 しているので、開催方法を十分に検討のうえ、相談を頂ければ、実施方 法を考えたい。

私も自分の意見を述べるだけの場とは考えていないので、民間の考え方を取り入れるなどして皆さんが参加し易い、発言したい、述べたことが 実現することが重要である。そのようなことが無いと、毎年開催しても 予定調和的なもので終わるということになりかねない。

そんな場としたくないので、開催場所や開催回数、開催時間を連合自治 会でも十分話をして相談頂けたら、私も配慮したいと思う。

●連合自治会会長

また役員会等で協議したいと思う。

以上のとおり支会からの提案・質問を受けた。 全体の質疑を終え、副市長より閉会の挨拶があり閉会した。